

## IV 研究成果

「インクル COMPASS」は、教育委員会、幼稚園、小・中学校・高等学校、特別支援学校を対象に実施したインクルーシブ教育システムの構築に関する全国実態調査の結果（国立特別支援教育総合研究所，2017）及び我が国のインクルーシブ教育システムに関する法制度や答申及び通知などを踏まえて、園や学校、教育委員会などでの活用や意見などを反映して作成したものである。地域や園・学校がインクルーシブ教育システムの構築・推進に向けて主体的に取り組むための手がかりとなること、ひいては我が国におけるインクルーシブ教育システム構築・推進に寄与することを目的としている。

「インクル COMPASS」では、各観点に示されている項目が全て達成されることを目標としたり、園・学校、教育委員会が到達度を点数化・評点化したりするのではなく、インクルーシブ教育システムの構築に向けて実施している取組の現状を把握し、課題や今後の方向性を見出して主体的に取り組むことができることを目的としている。この趣旨が正確に認識されるように、ツールの名称を「インクルーシブ教育システムを推進し、主体的取組を支援するための観点（Components for promoting inclusive education system and assisting proactive practice）」（略称、「インクル COMPASS」）と命名した。

本研究においては、平成 28 年度から「インクル COMPASS」（この前駆として当初の名称は、「評価指標」）の作成に着手した。教育委員会や園・学校を対象とした調査で寄せられた指標に対する要望（「課題解決に役立つもの」、「学校がインクルーシブ教育システムについて理解し展開できるもの」、「インクルーシブ教育システムを進めていくために教育活動の方向性を示すもの」）を反映する形で検討を重ね、園・学校用「インクル COMPASS」、教育委員会用「インクル COMPASS」を作成、提案した。

「インクル COMPASS」のコンセプトは、以下の通りである。

### 【共通コンセプト】

教育委員会、園・学校がインクルーシブ教育システム構築に向けて、それぞれが実施している取組の現状を把握し、課題や今後の方向性を見出すことのできるものとする。

### 【教育委員会】

域内の各園・各学校の取組の状況を把握することによって、域内のインクルーシブ教育システムの構築に関わる施策を検討するための資料として使用する。

### 【園・学校】

自校（自園）のインクルーシブ教育システムの構築を一層推進するために、現在の取組状況を把握し、その結果を踏まえて今後、取り組むべきことを検討する際のヒントが得られるものとする。また、現状を振り返ることで、自校（自園）の強みや課題を確認することができるものとする。

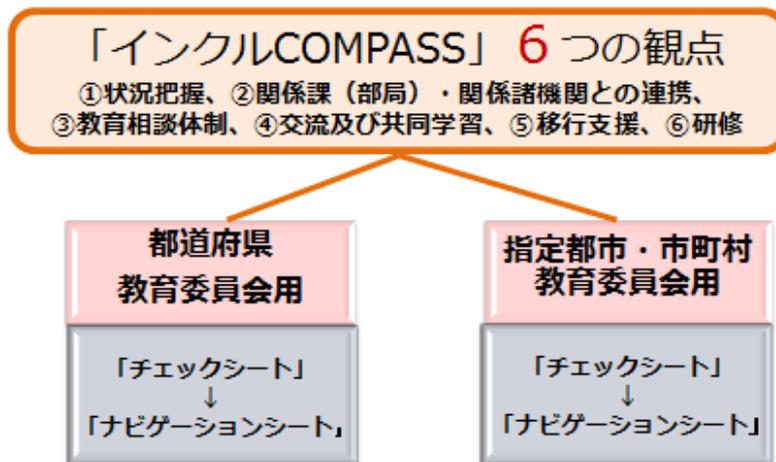
園・学校用「インクル COMPASS」及び教育委員会用「インクル COMPASS」の構造は、以下の通りである。

## 園・学校用「インクルCOMPASS」の構造



図IV-1 園・学校用「インクル COMPASS」の構造

## 教育委員会用「インクルCOMPASS」の構造



図IV-2 教育委員会用「インクル COMPASS」の構造

また、園・学校用「インクル COMPASS」を活用してインクルーシブ教育システムの構築・推進に取り組んだ研究協力機関の園や学校の事例を収集し、書籍として刊行するとともに、「インクル COMPASS」の周知と活用をはかるためのガイドを作成・公表した。